

熊本県高次脳機能障害支援センター研修会
令和5年3月1日

熊本県高次脳機能障害支援センター の取り組み

熊本県高次脳機能障害支援センター

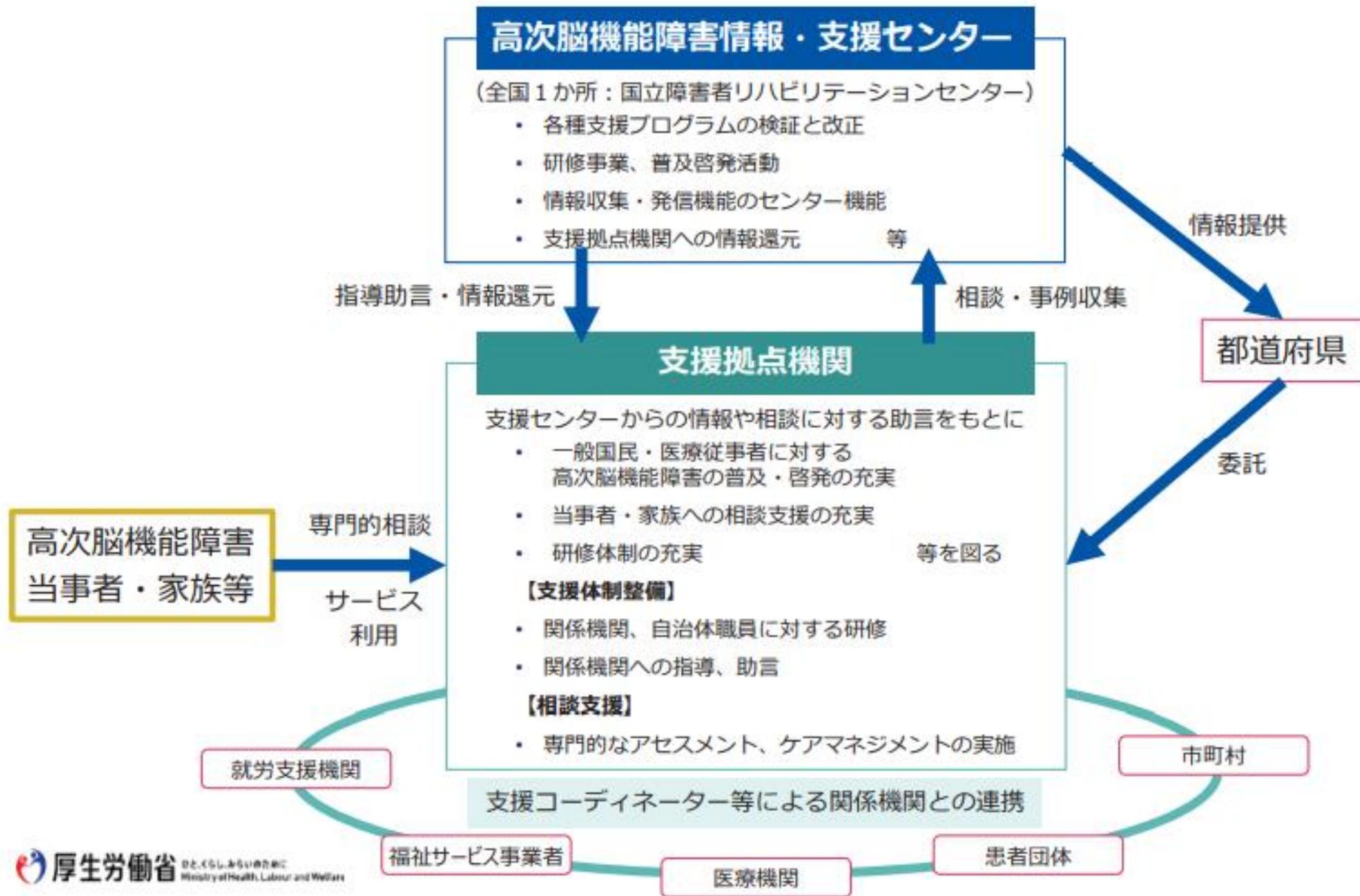
熊本託麻台リハビリテーション病院

支援コーディネーター 作業療法士 山本恵利香

熊本県高次脳機能障害支援センター概要



支援開始	2019年4月1日
相談専用電話 (高次脳機能障害ホットライン)	096-381-5142
担当スタッフ	脳神経外科医、看護師、作業療法士、心理師 相談員（必要に応じ他スタッフも支援介入）
所在地	熊本託麻台リハビリテーション病院に設置 〒862-0924 熊本市中央区帯山8-2-1
相談時間	9：00～12：00 13：00～16：00 (土日祝日、年末年始の休日を除く)



支援拠点機関

支援センターからの情報や相談に対する助言をもとに

- 一般国民・医療従事者に対する
高次脳機能障害の普及・啓発の充実
- 当事者・家族への相談支援の充実
- 研修体制の充実

等を図る

【支援体制整備】

- 関係機関、自治体職員に対する研修
- 関係機関への指導、助言

【相談支援】

- 専門的なアセスメント、ケアマネジメントの実施

支援コーディネーター等による関係機関との連携

都道府県

委託

高次脳機能障害
当事者・家族等

専門的相談

サービス
利用

就労支援機関

市町村

福祉サービス事業者

医療機関

患者団体

熊本県高次脳機能障害支援センターでの支援内容

① 相談支援事業

② 普及・啓発
研修事業

熊本県
高次脳機能障害
支援センター

③ 家族支援

④ 高次脳機能障害支援体制
(ネットワーク作り)

①相談支援事業

- 高次脳機能障害者の個々の相談支援
- 高次脳機能障害に関する相談窓口
 - 電話相談
高次脳機能障害ホットライン
☎ 098-381-5142
 - 面接相談
 - 支援会議

【よくある相談内容】

自分は高次脳
機能障害で
しょうか？

高次脳の検
査をして欲
しい

就労支援をし
てほしい



福祉サービ
スを知りたい

対応方法を
知りたい

経済的なこ
とを相談
したい

【相談内容への対応】

- アセスメントとして、診断名や受傷発症状況、医療面、住まい、生活状況、仕事内容、生活歴、サービスの利用状況など
- どのような支援を希望しているのか確認します

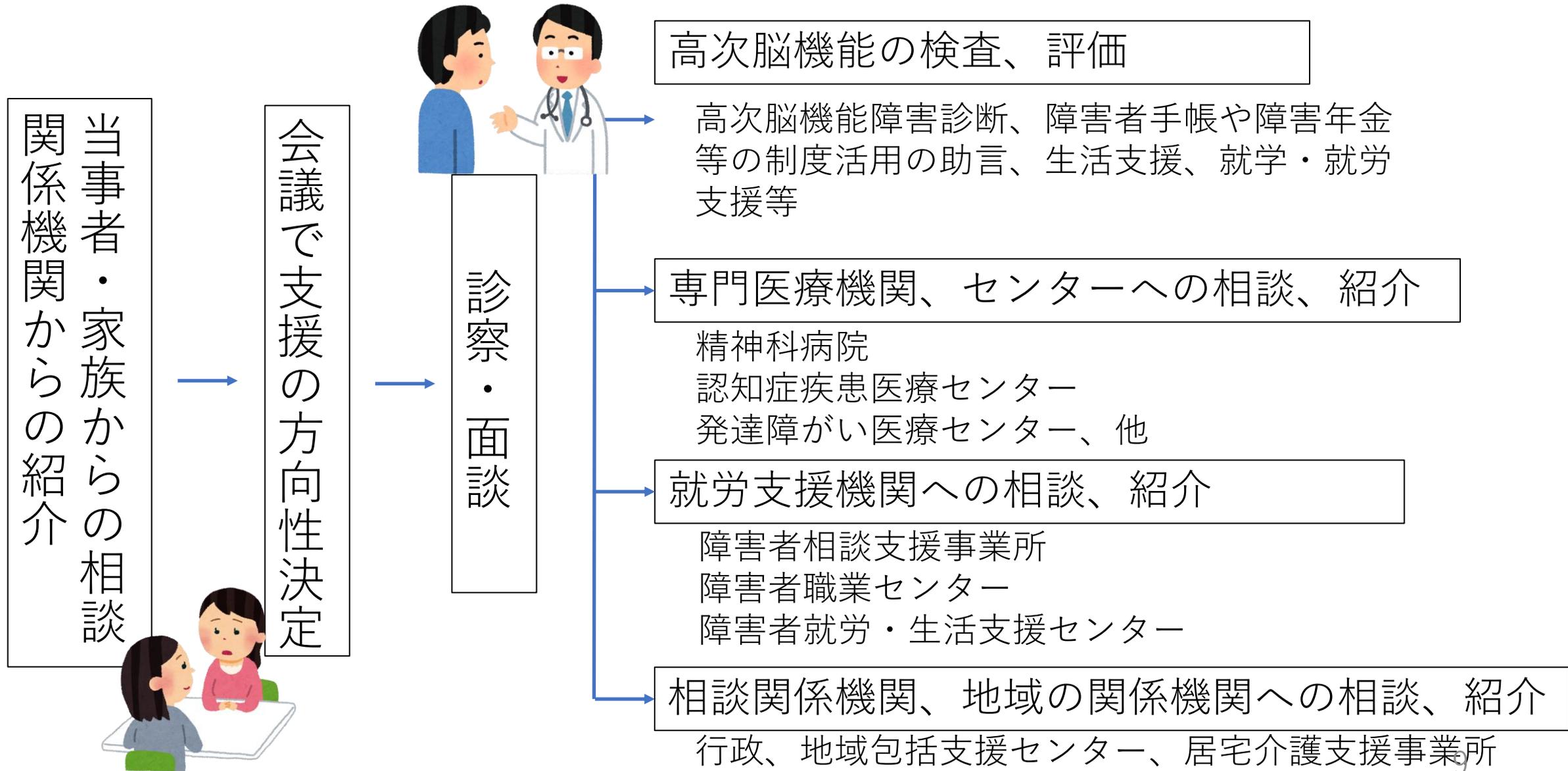


- 様々な悩みや困り事を解決するための情報提供、提案
- 生活上の対処方法をの助言
- 必要な関係機関への相談・連携

※高次脳機能障害の「治療」と「リハビリテーション」ではないです

相談支援事業

～当センターの支援の流れ～



相談支援件数

(2021年4月~2022年3月31日)

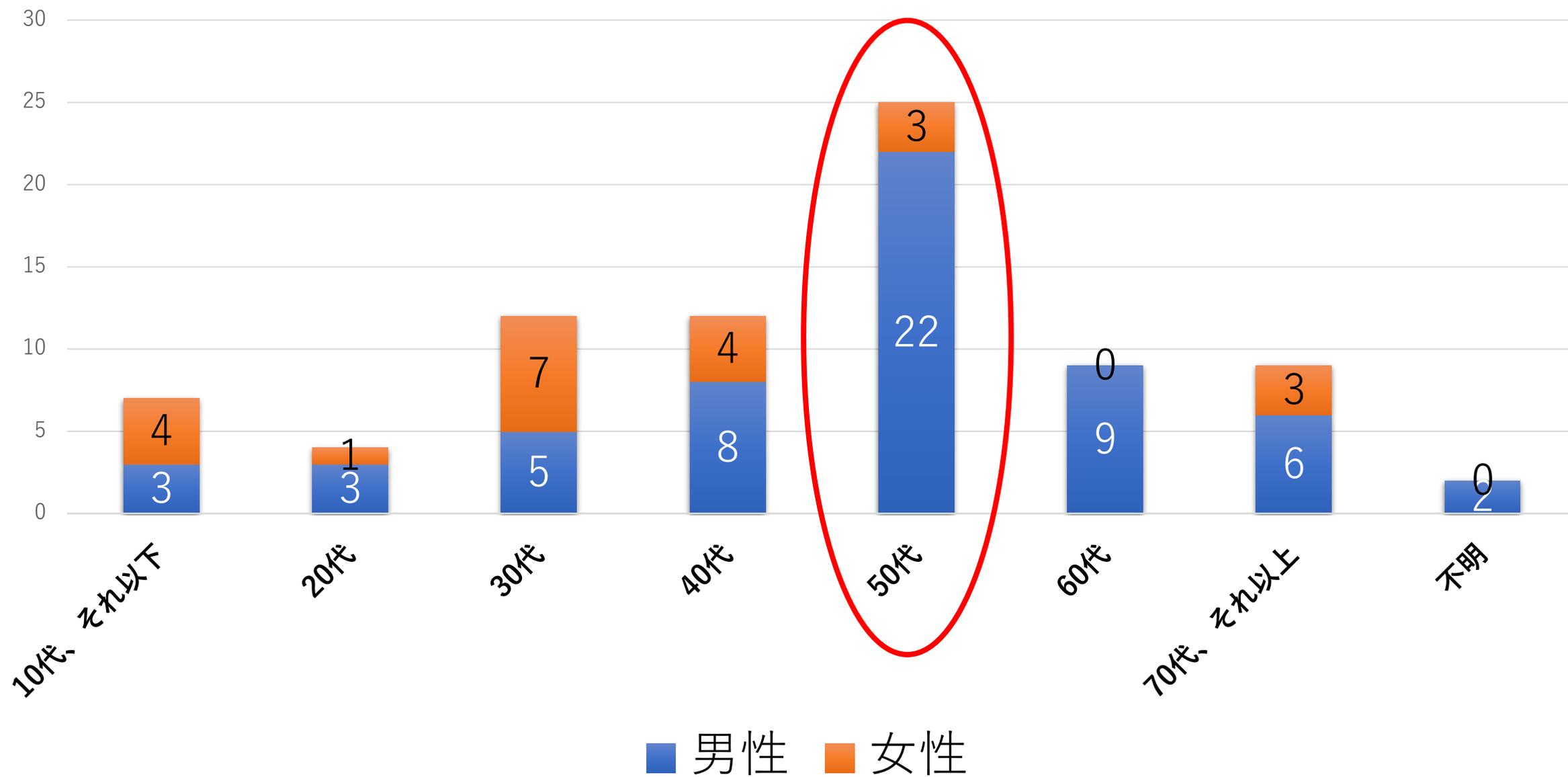
○全相談件数

(延べ件数)

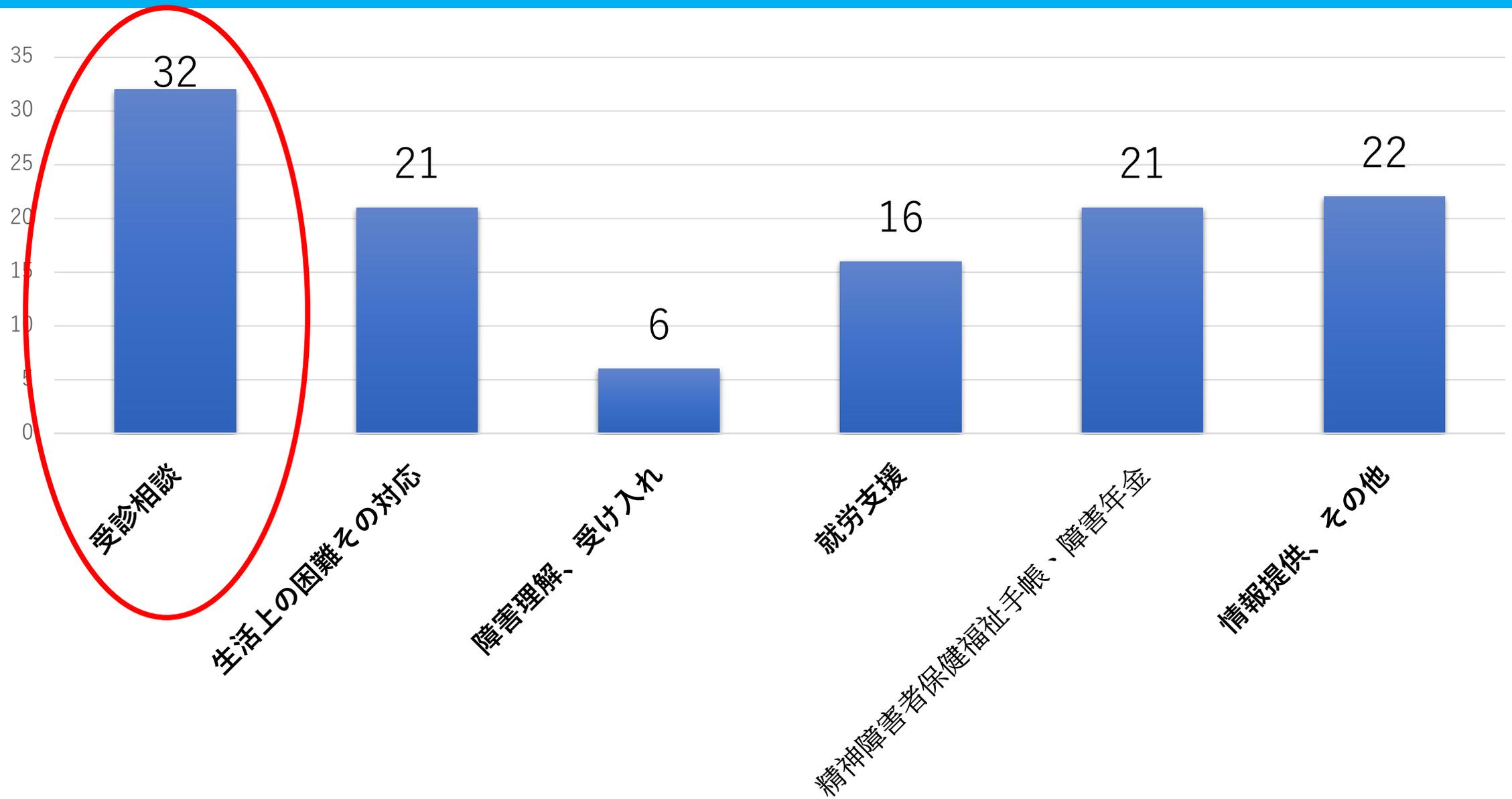
直接相談 (本人・家族)	電話相談延べ件数	129	335
	面談件数	206	
間接相談 (関係機関)	電話相談延べ件数	118	139
	面談件数	13	
	書簡、メール	8	

○支援会議 (ケース会議、関係者会議) : 62件 (延べ: 107件)

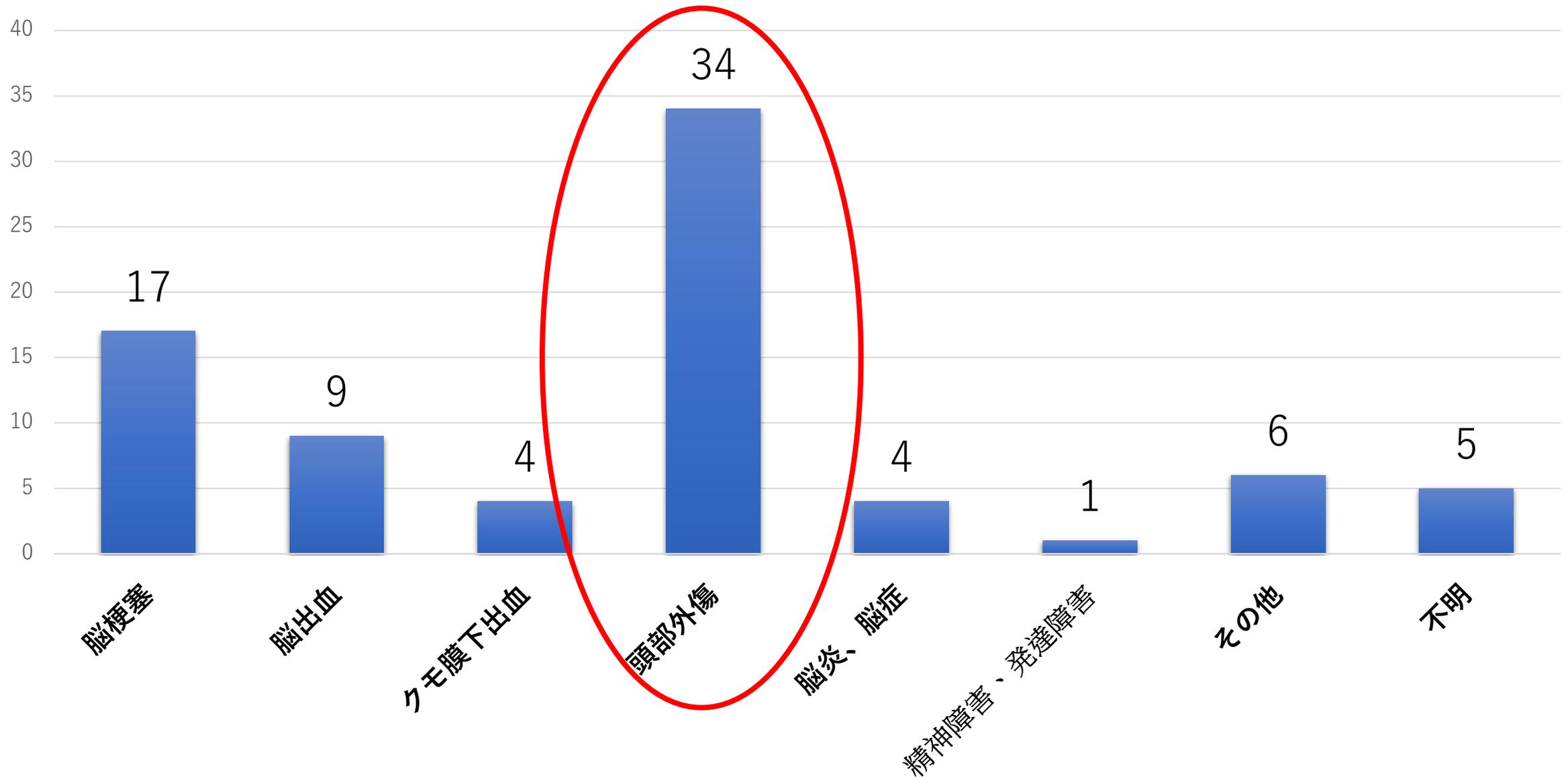
性別及び年齢



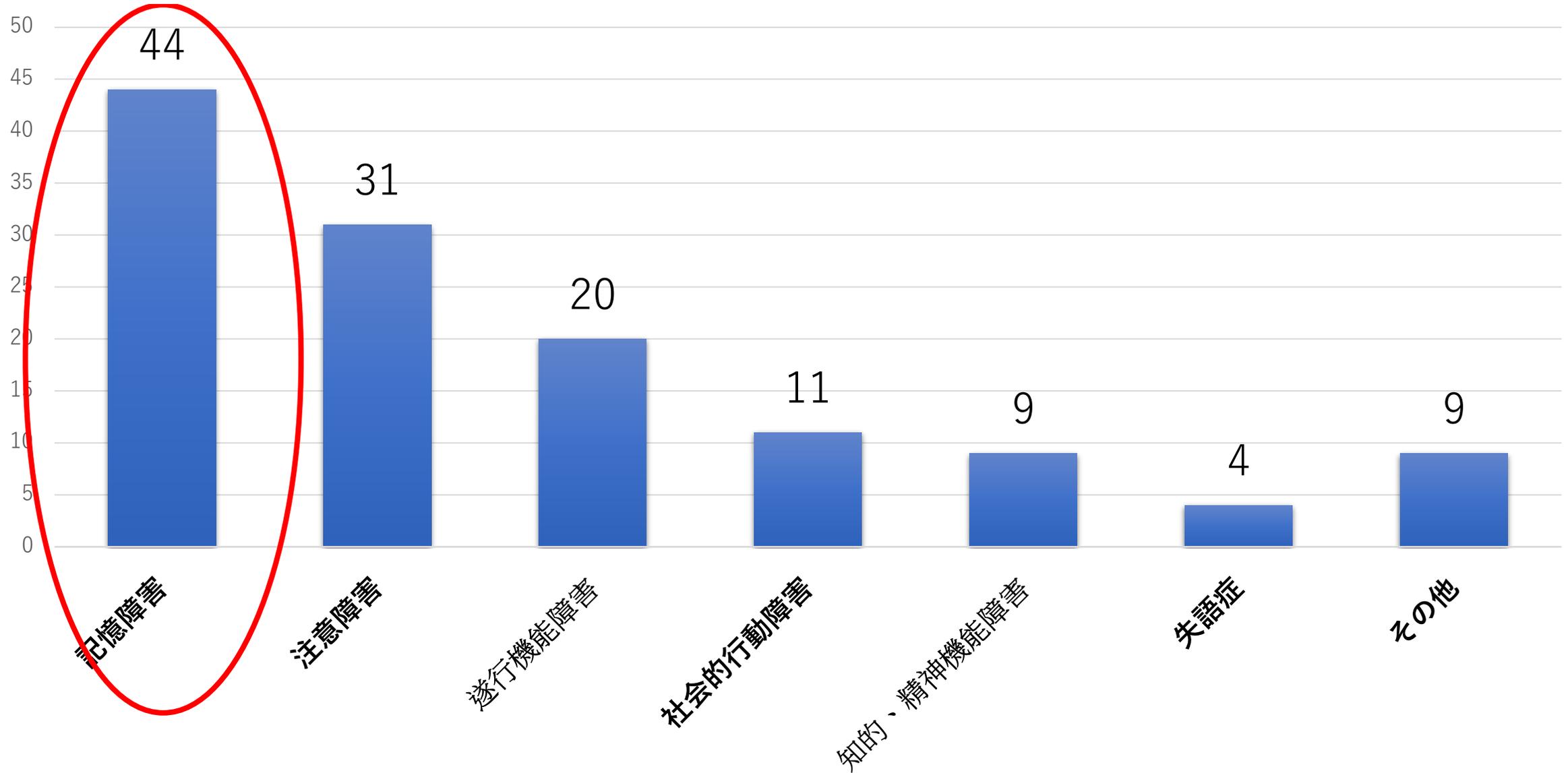
相談内容の内訳



主たる原因疾患の内訳



高次脳機能障害の内訳



相談対応以外の支援内容及び件数

(延べ件数)

診察、診断	145
検査（画像、脳波）	23
神経心理学的検査	98
心理検査・支援	26
言語評価・支援	8
就労支援	20
診断書作成	19
自動車運転再開支援	4
社会資源の情報提供	8

社会資源、制度について

- 高次脳機能障害は、精神障害者保健福祉手帳の対象となります
 - 何らかの精神障害（てんかん、発達障害、高次脳機能障害などを含みます）により、長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある方を対象
 - 診断書は、精神障害（高次脳機能障害）の初診日から6カ月以上経過
 - 手帳の有効期限は2年

②普及・啓発 研修事業

- 高次脳機能障害の正しい理解の促進普及のため
ホームページ パンフレットを活用

◆ホームページの活用

熊本県高次脳機能障害支援センター

Kumamoto Higher Brain Dysfunction support center

一人でも多くの人に理解してもらうこと、
それが高次脳機能障害者とその家族の願いです。

● センターのご案内

● 高次脳機能障害とは

● ニュース・お知らせ

● 相談窓口のご案内

<http://www.kumamoto-kouji.jp/>

◆パンフレットの活用

高次脳機能障害を理解しよう



より多くの方に高次脳機能障害を知って、理解を深めてほしい
『高次脳機能障害』とは病気や事故などで脳に損傷を受けた場合に起こる後遺症のひとつです。主な原因としては、以下があげられます。

原因となる主な疾患

- ① 脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）
- ② 脳外傷（交通事故などにより、頭部を打撲し、脳が傷つけられた状態）
- ③ 脳炎・脳症（ヘルペス脳炎、狂牛病など）

以上のような病気や事故による入院、退院後に、家庭や職場に戻ってから、対人関係や社会生活において障害があることに気付かれることが多く、外見からはわかりにくい障害であり、「見えない障害」ともいわれています。
記憶や注意、言語などの認知機能に障害があり、そのために生活に支障をきたしてしまいます。主な症状としては、以下があげられます。

記憶障害 新しいことを覚えられなくなったり、以前のことを思い出せなくなったりします。 ● ついさき自分がしたことを忘れてしまう ● 昔のことを思い出せぬ ● 日付や自分のいる場所がわからない ● 約束をすぐ忘れてしまう ● 何度も同じ質問を繰り返す	社会的行動障害 依存症になり、感情や行動を自分で調整することが難しくなります。 ● 些細なことでも怒り出す ● 人の気持ちをうまく察することができない ● 飲酒が止まらない ● ちょっとしたことでひどくこだわる ● 意欲が低下したり、物事に無関心になる
注意障害 物事に集中できなかったり、まわりのことが気になったり、気が散りやすくなったりします。 ● いつもぼんやりしている ● ひたつことを長く続けることができない ● 仕事をするとミスが多い ● ひたつことを同時にやろうとすると混乱する	遂行機能障害 目標を決めて、計画を立てて実行し、要領よく行動することが困難になります。 ● 優先順位が決まらない ● 知識を立って行動することができない ● 行き当たりつらりの行動をとる ● ひたつとつ指図されないと行動に移せない

熊本県高次脳機能障害支援センター



高次脳機能障害支援
ハンドブック

熊本県高次脳機能障害支援センター
熊本託麻台リハビリテーション病院

◆ハンドブックの活用

研修事業

- 高次脳機能障害の正しい理解を普及促進するため研修会

- 年間 2 回計画

- ① 令和4年8月22日 WEB開催

- テーマ：「軽度外傷性脳損傷の診断と治療について」

- 講師：永廣信治先生（吉野川病院）

- ② 令和5年3月1日 WEB開催

- 依頼があれば、事業所・施設支援として研修会の実施

③家族支援

- 今年度、「家族同士の相談・交流の場の機会」として家族の集まりの場を設けた（キックオフ会 家族だけの打ち合わせ）

➤対象：高次脳機能障害の子を持つ親

➤開催の頻度：家族に任せている

➤場所：当院の会議室

いずれ、「家族主体の家族会」の立ち上げにつなげていきたい

④高次脳機能障害支援体制（ネットワーク作り）

- 高次脳機能障害の方、そのご家族が県内のどの地域にお住まいでも同じような支援が受けられるよう、熊本県内での高次脳機能障害のネットワークの構築
 - R4年9月27日 県・精神保健福祉センターとプレコア会議
 - R5年1月31日 熊本市内の脳神経内科部門の医師とコア会議
 - R5年3月～4月 脳神経外科部門、リハビリテーション部門、精神科部門等へ声掛けをしながら委員会を結成

高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会等

全国高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（年2回）

支援コーディネーター会議（年2回）

第1回：2022年6月29日 WEB開催

第2回：2023年2月17日 WEB開催

高次脳機能障害支援事業九州ブロック会議

高次脳機能障害支援事業九州ブロック会議（年1回）

※2022年11月28日 WEB開催

幹事県：長崎県